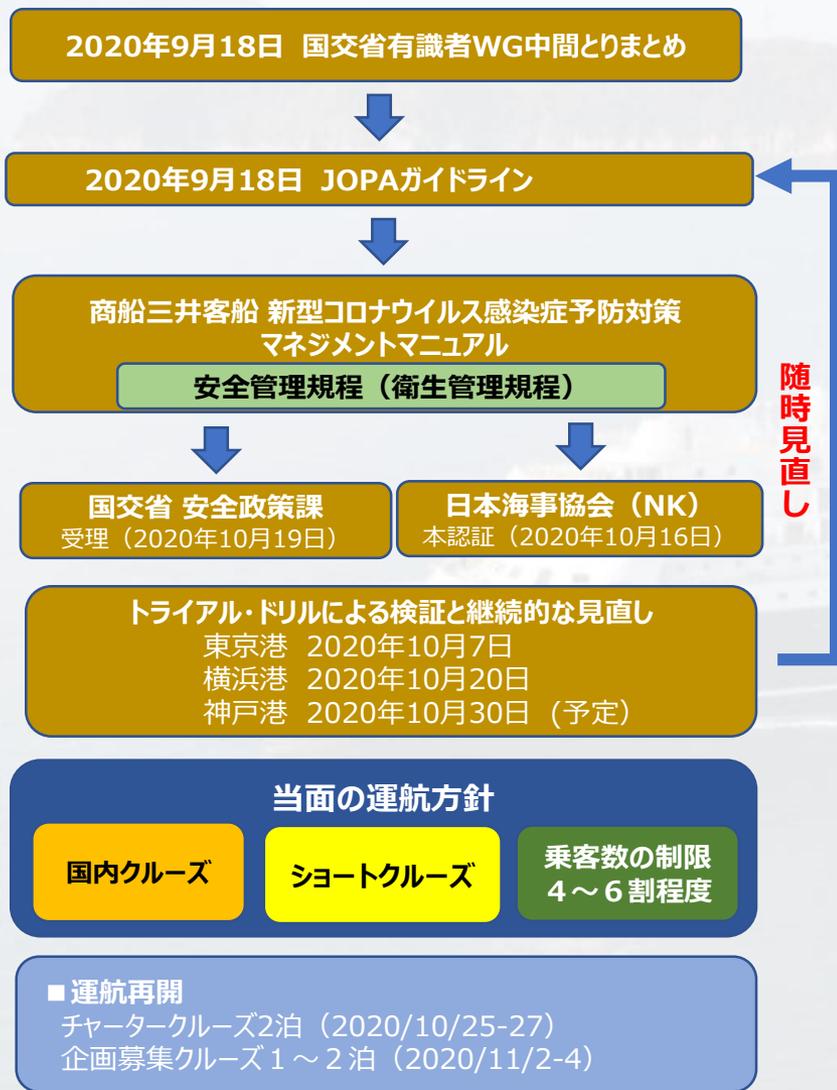


# 運航再開までの経緯と感染症対策



## 商船三井客船の感染症対策の骨子

### ① 感染を船内に持ち込まない

- \* 乗客の対応  
予約条件の見直し  
マスク着用の義務化  
乗船前スクリーニング (検温、質問票、問診)  
事前ウイルス検査の実施 (指定クルーズ)
- \* 乗組員、スタッフ向け対策  
行動規範、事前ウイルス検査の実施 (外国人船員は複数回)  
乗船後、観察を経て就労

### ② 船内で感染をさせない

- \* 乗組員に対する清掃、消毒の教育と訓練の徹底
- \* 船内消毒体制の強化
- \* 乗組員の健康管理の徹底
- \* 三密防止 (ソーシャルディスタンスの徹底、入場制限、イベントの見直し)
- \* 手洗い・手指のアルコール消毒の徹底
- \* サービス内容の変更 (ビュッフェ中止)
- \* 空調対策 (換気、UV-C殺菌ライト、抗菌フィルター、空気清浄機等)

### ③ 感染を拡大させない (クラスター防止、感染者下船が基本)

- \* 有症者、感染者発生時の対応準備
- \* 早期発見 (サーモグラフィ、毎日の検温記録)、早期隔離
- \* 隔離部屋 (20室)、イベントの中止、乗客全員を自室待機
- \* 診断 (抗原検査)、陰圧テント室 (1室)、仮設クリニックの設置
- \* 船内ゾーニング
- \* 濃厚接触が疑わしい方の特定アプリの導入
- \* 下船導線の設定
- \* 通報体制、陸上サイド (保健所・港湾管理者) との連携
- \* 船客名簿等の保管
- \* 帰宅支援

※2020年10月28日現在